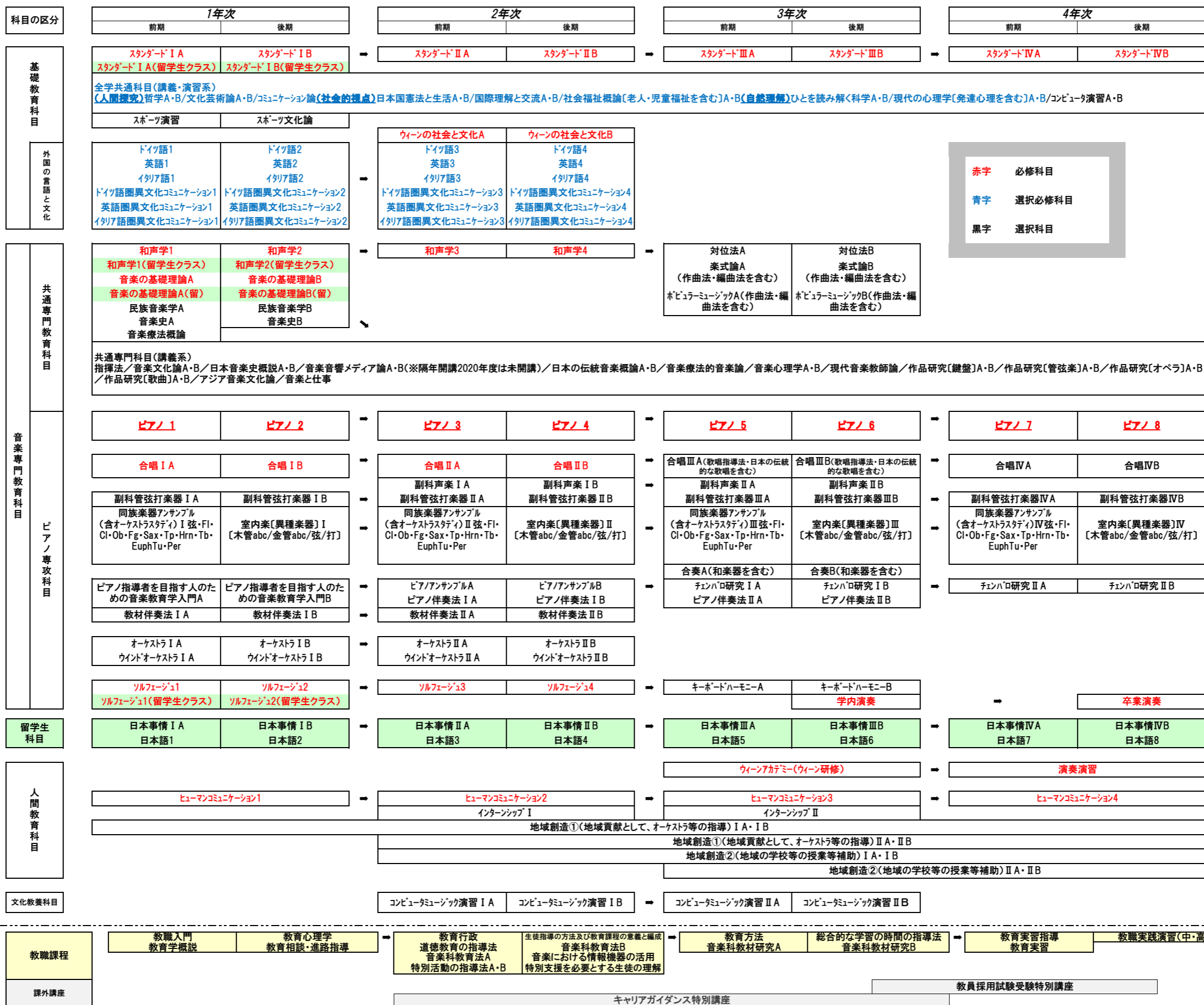


令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【ピアノ専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
 青字 選択必修科目
 黒字 選択科目

知識・技能
 教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。
 広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。
 専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを構成する。
 高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
 専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。
 知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
 国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。
 身に付けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

カリキュラムポリシー

知識・技能
 多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力
 専攻分野を中心とした知識と技能
 国際的な視野に立った広範な文化の理解

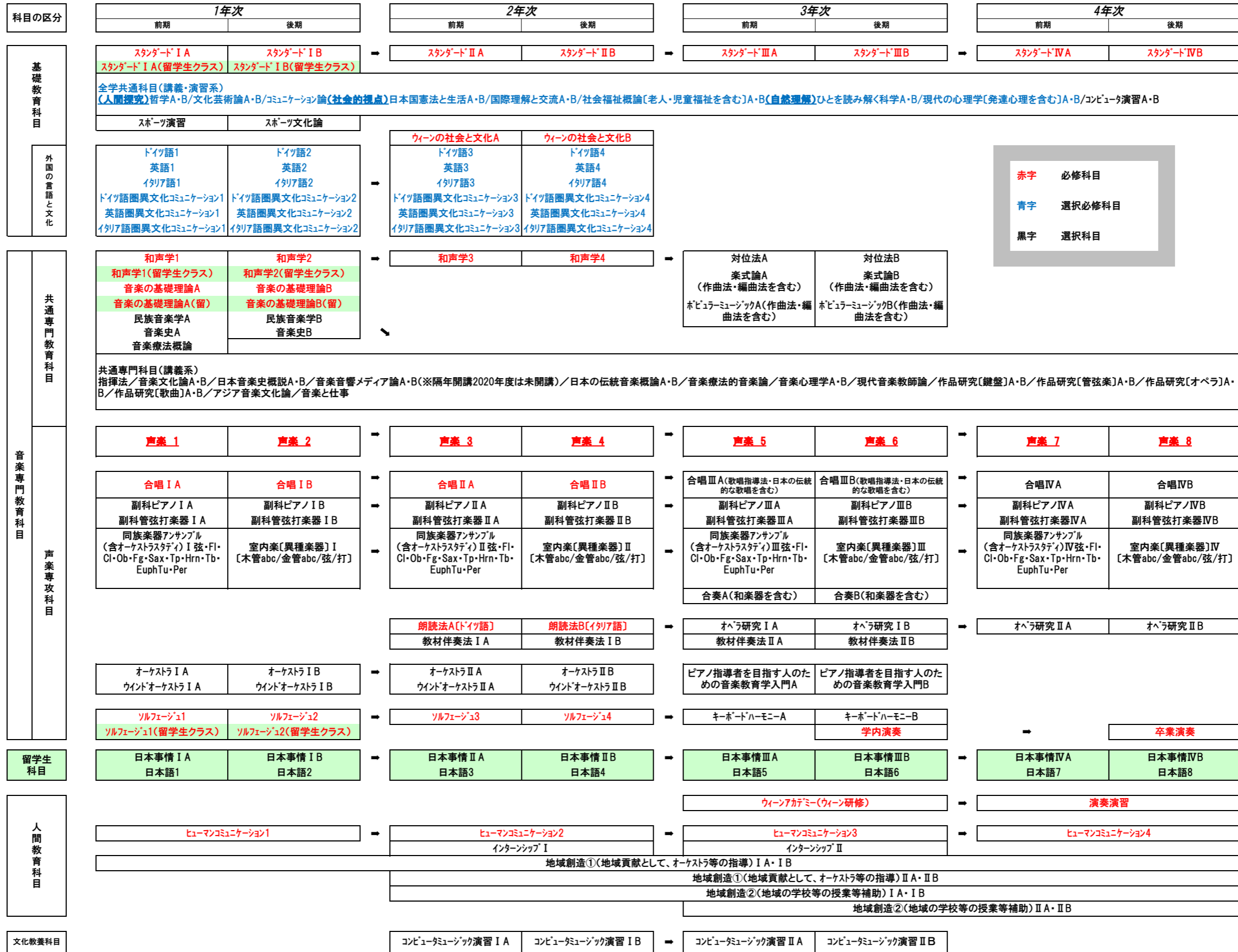
思考力・判断力・表現力
 現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力
 体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決を遂行する能力
 自己発信のプレゼンテーション能力
 専門分野を超えて問題を探索する姿勢
 国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

意欲・関心・志向性
 自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)
 生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)
 多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

ディプロマポリシー

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする)

令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【声楽専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
教養と技能およびキャリアを育む。全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

知識・技能
広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

知識・技能
専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

知識・技能
高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

思考力・判断力・表現力
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

意欲・関心・志向性
身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と、新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

知識・技能
多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

知識・技能
専攻分野を中心とした知識と技能

知識・技能
国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

思考力・判断力・表現力
体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

思考力・判断力・表現力
自己発信のプレゼンテーション能力

思考力・判断力・表現力
専門分野を超えて問題を探求する姿勢

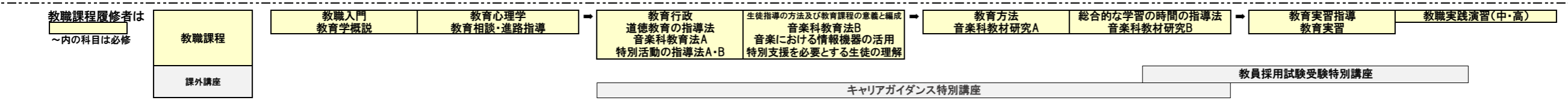
思考力・判断力・表現力
国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

意欲・関心・志向性
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

意欲・関心・志向性
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

意欲・関心・志向性
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」



令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【管弦打専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次									
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期								
基礎教育科目	スタンダードⅠA スタンダードⅠA(留学生クラス)		スタンダードⅠB スタンダードⅠB(留学生クラス)		スタンダードⅡA スタンダードⅡB		スタンダードⅢA スタンダードⅢB		スタンダードⅣA スタンダードⅣB							
	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然環境)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学(発達心理を含む)A・B/コンピュータ演習A・B															
外国の言語と文化	ドイツ語1 英語1 イタリア語1		ドイツ語2 英語2 イタリア語2		ドイツ語3 英語3 イタリア語3		ドイツ語4 英語4 イタリア語4									
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1															
共通専門教育科目	和声学1 和声学1(留学生クラス)		和声学2 和声学2(留学生クラス)		和声学3		和声学4									
	音楽の基礎理論A 音楽の基礎理論B(留) 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論															
音楽専門教育科目	共通専門科目(講義系) 指揮法/音楽文化論A・B/日本音楽史概説A・B/音楽響響メディア論A・B(※隔年開講2020年度は未開講)/日本の伝統音楽概論A・B/音楽療法的音楽論/音楽心理学A・B/現代音楽教師論/作品研究[鍵盤]A・B/作品研究[管弦楽]A・B/作品研究[オペラ]A・B/作品研究[歌曲]A・B/アジア音楽文化論/音楽と仕事															
	管弦打楽器 1		管弦打楽器 2		管弦打楽器 3		管弦打楽器 4		管弦打楽器 5		管弦打楽器 6		管弦打楽器 7		管弦打楽器 8	
管弦打専攻科目	合唱ⅠA		合唱ⅠB		合唱ⅡA		合唱ⅡB		合唱ⅢA(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)		合唱ⅢB(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)		合唱ⅣA		合唱ⅣB	
	副科声楽ⅠA 副科声楽ⅠB 副科ピアノⅠA 副科ピアノⅠB															
留学生科目	同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ)Ⅰ弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		室内楽(異種楽器)Ⅰ [木管abc/金管abc/弦/打]		同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ)Ⅱ弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		室内楽(異種楽器)Ⅱ [木管abc/金管abc/弦/打]		同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ)Ⅲ弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		室内楽(異種楽器)Ⅲ [木管abc/金管abc/弦/打]		同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ)Ⅳ弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		室内楽(異種楽器)Ⅳ [木管abc/金管abc/弦/打]	
	オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅠA オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅠB オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅡA オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅡB オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅢA オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅢB オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅣA オークストラ・ウインド・オーケストラのための合奏ベーシックⅣB															
人間教育科目	ソルフェージュ1 ソルフェージュ1(留学生クラス)		ソルフェージュ2 ソルフェージュ2(留学生クラス)		ソルフェージュ3		ソルフェージュ4		キーボード・ハーモニーA		キーボード・ハーモニーB				卒業演奏	
	日本事情ⅠA 日本語1 日本事情ⅠB 日本語2 日本事情ⅡA 日本語3 日本事情ⅡB 日本語4 日本事情ⅢA 日本語5 日本事情ⅢB 日本語6 日本事情ⅣA 日本語7 日本事情ⅣB 日本語8															
文化教養科目	ヒューマンコミュニケーション1		ヒューマンコミュニケーション2 インターシッパⅠ		ヒューマンコミュニケーション3 インターシッパⅡ		ヒューマンコミュニケーション4		ウイーンアカデミー(ウイーン研修)		演奏演習					
	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅠA・ⅠB 地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導)ⅡA・ⅡB 地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅠA・ⅠB 地域創造②(地域の学校等の授業等補助)ⅡA・ⅡB															
教職課程	コンピュータミュージック演習ⅠA		コンピュータミュージック演習ⅠB		コンピュータミュージック演習ⅡA		コンピュータミュージック演習ⅡB		教育実習指導 教育実習		教職実践演習(中・高)					
	教職入門 教育学概説 教育心理学 教育相談・進路指導 教育行政 道徳教育の指導法 音楽科教育法A 音楽科教育法B 特別活動の指導法A・B 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 音楽科教育法B 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解 教育方法 音楽科教材研究A 総合的な学習の時間の指導法 音楽科教材研究B キャリアガイダンス特別講座															
教員採用試験受験特別講座																

赤字 必修科目
 青字 選択必修科目
 黒字 選択科目

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型・少人数授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲

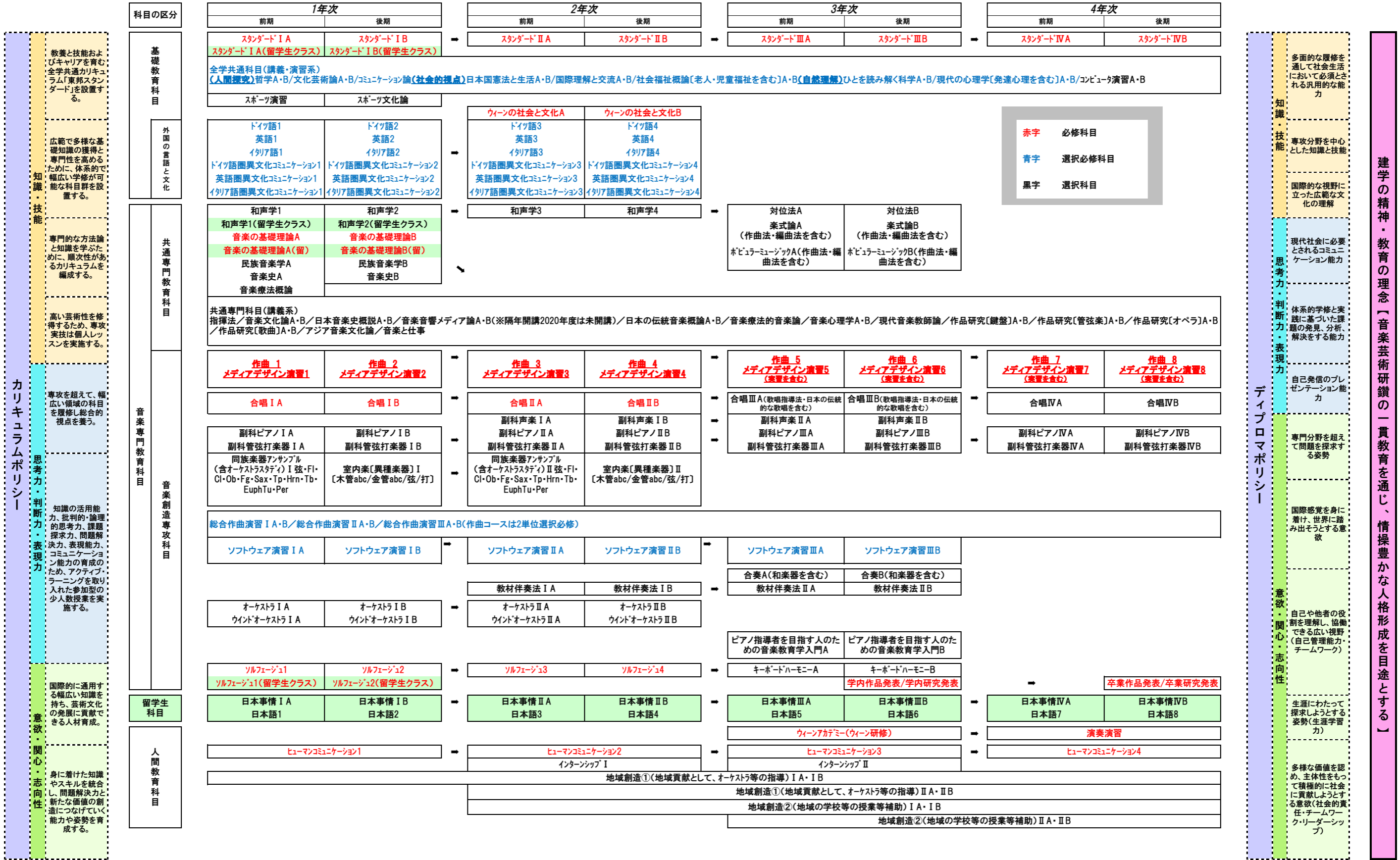
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする)

令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽創造専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブ・ラーニングを取り入れた参加型授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

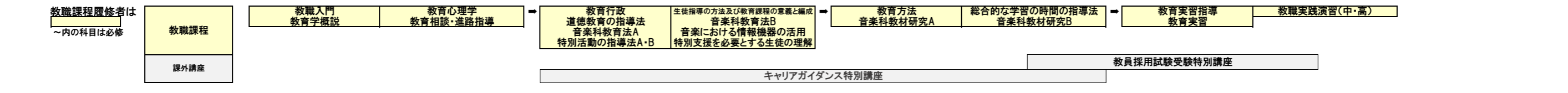
国際感覚を身に着け、世界に踏み出そうとする意欲

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

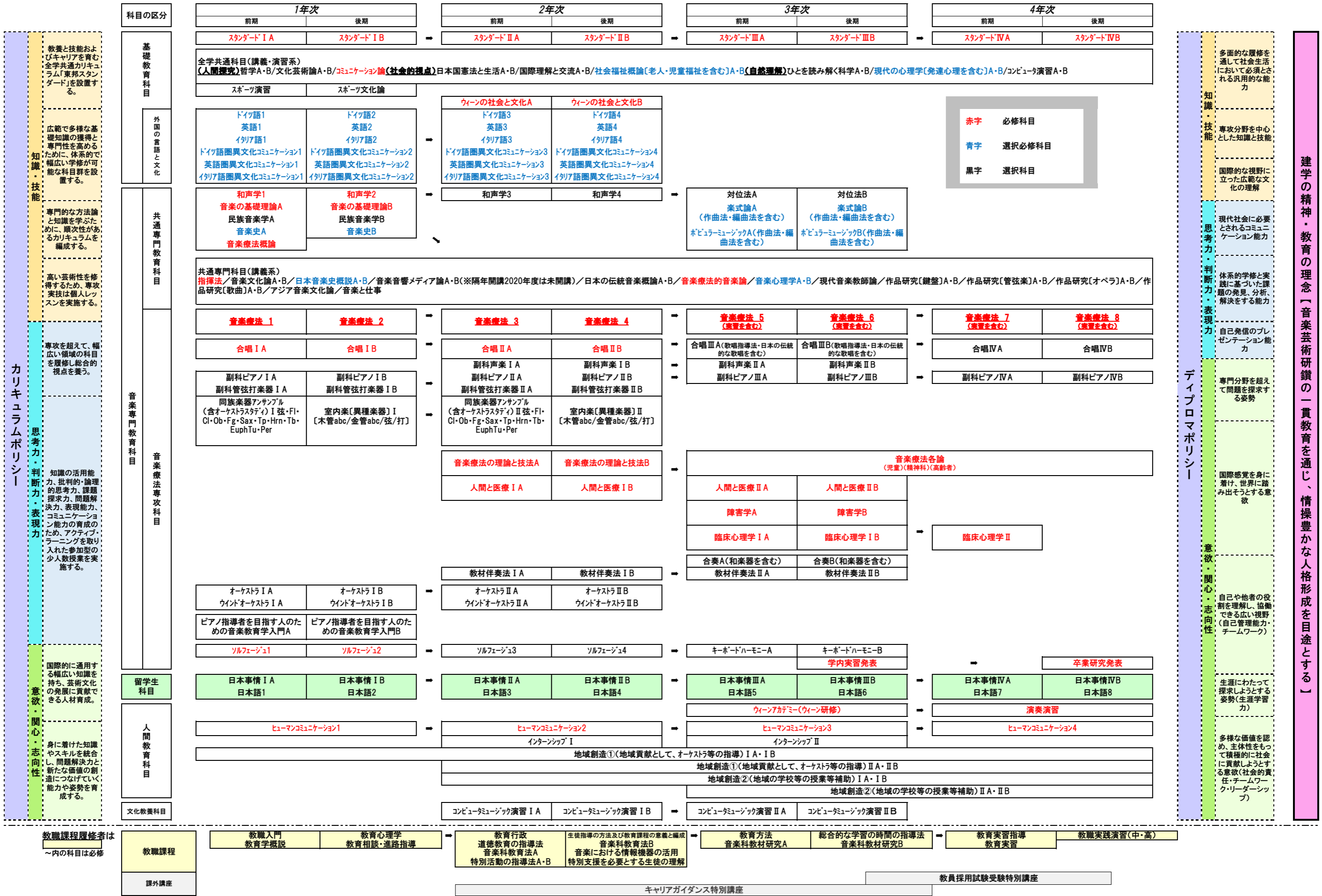
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念(音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする)



令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【音楽療法専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目途とする」

令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【konzertfach演奏専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	スタンダード I A (留学生クラス) / スタンダード I B (留学生クラス)		スタンダード II A / スタンダード II B					
	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然環境)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学(発達心理を含む)A・B/コンピュータ演習A・B スポーツ演習 / スポーツ文化論							
外国の言語と文化	ドイツ語(konzertfach)1 英語1 イタリ語1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリ語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語(konzertfach)2 英語2 イタリ語2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリ語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語(konzertfach)3 【異文化コミュニケーションを含む】 英語3 イタリ語3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリ語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語(konzertfach)4 【異文化コミュニケーションを含む】 英語4 イタリ語4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリ語圏異文化コミュニケーション4	ドイツ語(konzertfach)5	ドイツ語(konzertfach)6	ドイツ語(konzertfach)7	ドイツ語(konzertfach)8
	和声学(konzertfach)1 音楽の基礎理論(konzertfach)A 民族音楽学A 音楽史A 作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I A	和声学(konzertfach)2 音楽の基礎理論(konzertfach)B 民族音楽学B 音楽史B 作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I B	和声学(konzertfach)3 ピアノ・管弦打楽器専攻生のみ必修	和声学(konzertfach)4	対位法(konzertfach)A 楽式論A (作曲法・編曲法を含む) ホビュラ・ミュージックA(作曲法・編曲法を含む)	対位法(konzertfach)B 楽式論B (作曲法・編曲法を含む) ホビュラ・ミュージックB(作曲法・編曲法を含む)	作品研究(歌曲)A(声楽専攻生のみ必修)	作品研究(歌曲)B(声楽専攻生のみ必修)
共通専門教育科目	音楽の基礎理論(konzertfach)A / 音楽の基礎理論(konzertfach)B		和声学(konzertfach)3 / 和声学(konzertfach)4		対位法(konzertfach)A / 対位法(konzertfach)B		ドイツ語(konzertfach)7 / ドイツ語(konzertfach)8	
	民族音楽学A / 音楽史A / 作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I A		民族音楽学B / 音楽史B / 作品研究(楽曲分析)(Konzertfach) I B		ホビュラ・ミュージックA / ホビュラ・ミュージックB		作品研究(歌曲)A / 作品研究(歌曲)B	
konzertfach専攻科目	konzerfach専門実技 1 / 2		konzerfach専門実技 3 / 4		konzerfach専門実技 5 / 6		konzerfach専門実技 7 / 8	
	Vo・Pf・管弦打 / ウィーン・オペラ・アカデミー / ウィーン・オペラ・アカデミー		Vo・Pf・管弦打 / ウィーン・オペラ・アカデミー / ウィーン・オペラ・アカデミー		Vo・Pf・管弦打 / ウィーン・オペラ・アカデミー / ウィーン・オペラ・アカデミー		Vo・Pf・管弦打 / ウィーン・オペラ・アカデミー / ウィーン・オペラ・アカデミー	
音楽専門教育科目	合唱 I A / 合唱 I B	合唱 II A / 合唱 II B	合唱 III A / 合唱 III B	合唱 IV A / 合唱 IV B	合奏 A (和楽器を含む)	合奏 B (和楽器を含む)	ピアノ・管弦打	ピアノ・管弦打
	ピアノ・管弦打 / 合唱 I A / 合唱 I B	ピアノ・管弦打 / 合唱 II A / 合唱 II B	ピアノ・管弦打 / 合唱 III A / 合唱 III B	ピアノ・管弦打 / 合唱 IV A / 合唱 IV B	ピアノ・管弦打 / 合奏 A / 合奏 B	ピアノ・管弦打 / 合奏 A / 合奏 B	ピアノ・管弦打 / 卒業演奏	ピアノ・管弦打 / 卒業演奏
声楽	副科声楽 I A / 副科声楽 I B		副科声楽 II A / 副科声楽 II B		副科声楽 III A / 副科声楽 III B		副科声楽 IV A / 副科声楽 IV B	
	朗読法(イタリ語)(Konzertfach) I A / 朗読法(イタリ語)(Konzertfach) I B		朗読法(ドイツ語)(Konzertfach) II A / 朗読法(ドイツ語)(Konzertfach) II B		オペラ研究 I A / オペラ研究 I B		オペラ研究 II A / オペラ研究 II B	
ピアノ	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育入門A / ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育入門B		ピアノアンサンブルA / ピアノ伴奏法 I A		ピアノアンサンブルB / ピアノ伴奏法 I B		ピアノアンサンブルC / ピアノ伴奏法 II A	
	同族楽器アンサンブル(含オーケストラスタディ) I 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		同族楽器アンサンブル(含オーケストラスタディ) II 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		同族楽器アンサンブル(含オーケストラスタディ) III 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per		同族楽器アンサンブル(含オーケストラスタディ) IV 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・EuphTu・Per	
管弦打	オーケストラ I A / ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B / ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A / ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B / ウインドオーケストラ II B	オーケストラ III A / ウインドオーケストラ III A	オーケストラ III B / ウインドオーケストラ III B	オーケストラ IV A / ウインドオーケストラ IV A	オーケストラ IV B / ウインドオーケストラ IV B
	オーケストラ I A / ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B / ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A / ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B / ウインドオーケストラ II B	オーケストラ III A / ウインドオーケストラ III A	オーケストラ III B / ウインドオーケストラ III B	オーケストラ IV A / ウインドオーケストラ IV A	オーケストラ IV B / ウインドオーケストラ IV B
留学生科目	日本語 I A / 日本語1	日本語 I B / 日本語2	日本語 II A / 日本語3	日本語 II B / 日本語4	日本語 III A / 日本語5	日本語 III B / 日本語6	日本語 IV A / 日本語7	日本語 IV B / 日本語8
	日本語 I A / 日本語1	日本語 I B / 日本語2	日本語 II A / 日本語3	日本語 II B / 日本語4	日本語 III A / 日本語5	日本語 III B / 日本語6	日本語 IV A / 日本語7	日本語 IV B / 日本語8
人間教育科目	人間コミュニケーション1		人間コミュニケーション2		人間コミュニケーション3		人間コミュニケーション4	
	人間コミュニケーション1		人間コミュニケーション2		人間コミュニケーション3		人間コミュニケーション4	
文化教養科目	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) I A・I B		地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) II A・II B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) I A・I B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) II A・II B	
	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) I A・I B		地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) II A・II B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) I A・I B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) II A・II B	
教職課程	教職入門 / 教育学概説	教育心理学 / 教育相談・進路指導	教育行政 / 道徳教育の指導法 / 音楽科教育法A / 音楽科教育法B / 音楽における情報機器の活用 / 特別活動の指導法A・B	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 / 音楽科教育法B / 音楽における情報機器の活用 / 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法 / 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 / 音楽科教材研究B	教育実習指導 / 教育実習	教職実践演習(中・高)
	教職入門 / 教育学概説	教育心理学 / 教育相談・進路指導	教育行政 / 道徳教育の指導法 / 音楽科教育法A / 音楽科教育法B / 音楽における情報機器の活用 / 特別活動の指導法A・B	生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 / 音楽科教育法B / 音楽における情報機器の活用 / 特別支援を必要とする生徒の理解	教育方法 / 音楽科教材研究A	総合的な学習の時間の指導法 / 音楽科教材研究B	教育実習指導 / 教育実習	教職実践演習(中・高)
課外講座	キャリアガイダンス特別講座		キャリアガイダンス特別講座		キャリアガイダンス特別講座		キャリアガイダンス特別講座	

カリキュラムポリシー

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

教職課程履修者は、～内の科目は必修

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

自己発達のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワークリーダーシップ)

知識・技能

思考力・判断力・表現力

ディプロマポリシー

意欲・関心・志向性

赤字 必修科目
青字 選択必修科目
黒字 選択科目

令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【教職実践専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)

科目の区分	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎教育科目	スタンダード I A	スタンダード I B	スタンダード II A	スタンダード II B				
	全学共通科目(講義・演習系) (人間探究)哲学A・B/文化芸術論A・B/コミュニケーション論(社会的視点)日本国憲法と生活A・B/国際理解と交流A・B/社会福祉概論(老人・児童福祉を含む)A・B(自然理解)ひとを読み解く科学A・B/現代の心理学(発達心理を含む)A・B/コンピュータ演習A・B							
外国の言語と文化	スポーツ演習	スポーツ文化論						
	教職入門(人間探究) 教育学概説(社会的視点)	教育心理学(自然理解) 教育相談・進路指導(人間探究)			教育方法(社会的視点)			
共通専門教育科目	ドイツ語1 英語1 イタリア語1	ドイツ語2 英語2 イタリア語2	ドイツ語3 英語3 イタリア語3	ドイツ語4 英語4 イタリア語4				
	ドイツ語圏異文化コミュニケーション1 英語圏異文化コミュニケーション1 イタリア語圏異文化コミュニケーション1	ドイツ語圏異文化コミュニケーション2 英語圏異文化コミュニケーション2 イタリア語圏異文化コミュニケーション2	ドイツ語圏異文化コミュニケーション3 英語圏異文化コミュニケーション3 イタリア語圏異文化コミュニケーション3	ドイツ語圏異文化コミュニケーション4 英語圏異文化コミュニケーション4 イタリア語圏異文化コミュニケーション4				
音楽実践専攻	和声学1 音楽の基礎理論A 民族音楽学A 音楽史A 音楽療法概論	和声学2 音楽の基礎理論B 民族音楽学B 音楽史B	和声学3	和声学4	対位法A 楽式論A (作曲法・編曲法を含む)	対位法B 楽式論B (作曲法・編曲法を含む)		
	平成31年度(令和元年度)入学生よりA or B何れか必修⇒ 教育行政 道徳教育の指導法 生徒指導の方法及び教育課程の意義と編成 特別活動の指導法A・B		平成31年度(令和元年度)入学生より必修 音楽における情報機器の活用 特別支援を必要とする生徒の理解		総合的な学習の時間の指導法 平成31年度(令和元年度)入学生より必修		教育実習指導 教育実習	教職実践演習(中・高)
音楽実践専攻	音楽実技 1 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 2 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 3 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 4 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 5 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 6 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 7 Vo・Pf・管弦打	音楽実技 8 Vo・Pf・管弦打
	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門A(1~3年次)	ピアノ指導者を目指す人のための音楽教育学入門B(1~3年次)	音楽科教育法A 教材伴奏法 I A	音楽科教育法B 教材伴奏法 I B	合奏A(和楽器を含む) 音楽科教材研究A 教材伴奏法 II A	合奏B(和楽器を含む) 音楽科教材研究B 教材伴奏法 II B	合唱特講(教職実践専攻)IV	
音楽実践専攻	合唱 I A	合唱 I B	合唱 II A	合唱 II B	合唱 III A(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱 III B(歌唱指導法・日本の伝統的な歌唱を含む)	合唱 IV A	合唱 IV B
	副科ピアノ I A 副科管弦打楽器 I A	副科ピアノ I B 副科管弦打楽器 I B	副科声楽 I A 副科ピアノ II A 副科管弦打楽器 II A	副科声楽 I B 副科ピアノ II B 副科管弦打楽器 II B	副科声楽 II A 副科ピアノ III A	副科声楽 II B 副科ピアノ III B	副科ピアノ IV A	副科ピアノ IV B
音楽実践専攻	ソルフェージュ1	ソルフェージュ2	ソルフェージュ3	ソルフェージュ4	キーボード・ハーモニ A	キーボード・ハーモニ B 学内研究発表		卒業研究発表
	声楽選択生のみ必修⇒		朗読法A(ドイツ語)	朗読法B(イタリア語)	オペラ研究 I A	オペラ研究 I B	オペラ研究 II A	オペラ研究 II B
音楽実践専攻	同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ) I 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・Euphu・Per	室内楽(異種楽器) I [木管abc/金管abc/弦/打]	同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ) II 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・Euphu・Per	室内楽(異種楽器) II [木管abc/金管abc/弦/打]	同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ) III 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・Euphu・Per	室内楽(異種楽器) III [木管abc/金管abc/弦/打]	同族楽器アンサンブル(含オーケストラステディ) IV 弦・Fl・Cl・Ob・Fg・Sax・Tp・Hrn・Tb・Euphu・Per	室内楽(異種楽器) IV [木管abc/金管abc/弦/打]
	オーケストラ I A ウインドオーケストラ I A	オーケストラ I B ウインドオーケストラ I B	オーケストラ II A ウインドオーケストラ II A	オーケストラ II B ウインドオーケストラ II B	オーケストラ III A ウインドオーケストラ III A	オーケストラ III B ウインドオーケストラ III B	オーケストラ IV A ウインドオーケストラ IV A	オーケストラ IV B ウインドオーケストラ IV B
音楽実践専攻	ウイーンアカデミー(ウイーン研修)							演奏演習
	ヒューマンコミュニケーション1	ヒューマンコミュニケーション2 インターシップ I	ヒューマンコミュニケーション3 インターシップ II	ヒューマンコミュニケーション4 インターシップ III				
音楽実践専攻	地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) I A・I B		地域創造①(地域貢献として、オーケストラ等の指導) II A・II B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) I A・I B		地域創造②(地域の学校等の授業等補助) II A・II B	
	コンピュータミュージック演習 I A	コンピュータミュージック演習 I B	コンピュータミュージック演習 II A	コンピュータミュージック演習 II B				
文化教養科目	キャリアガイダンス特別講座							
課外講座	教員採用試験受験特別講座							

教養と技能およびキャリアを育む全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

基礎教育科目

外国の言語と文化

共通専門教育科目

音楽実践専攻

声楽

ピアノ

管弦打

人間教育科目

文化教養科目

課外講座

多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

知識・技能

専攻分野を中心とした知識と技能

国際的な視野に立った広範な文化の理解

現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

思考力・判断力・表現力

体系的な学修と実践に基づいた課題の発見・分析・解決をする能力

自己発信のプレゼンテーション能力

専門分野を超えて問題を探求する姿勢

国際感覚を身に付け、世界に踏み出す意欲

自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

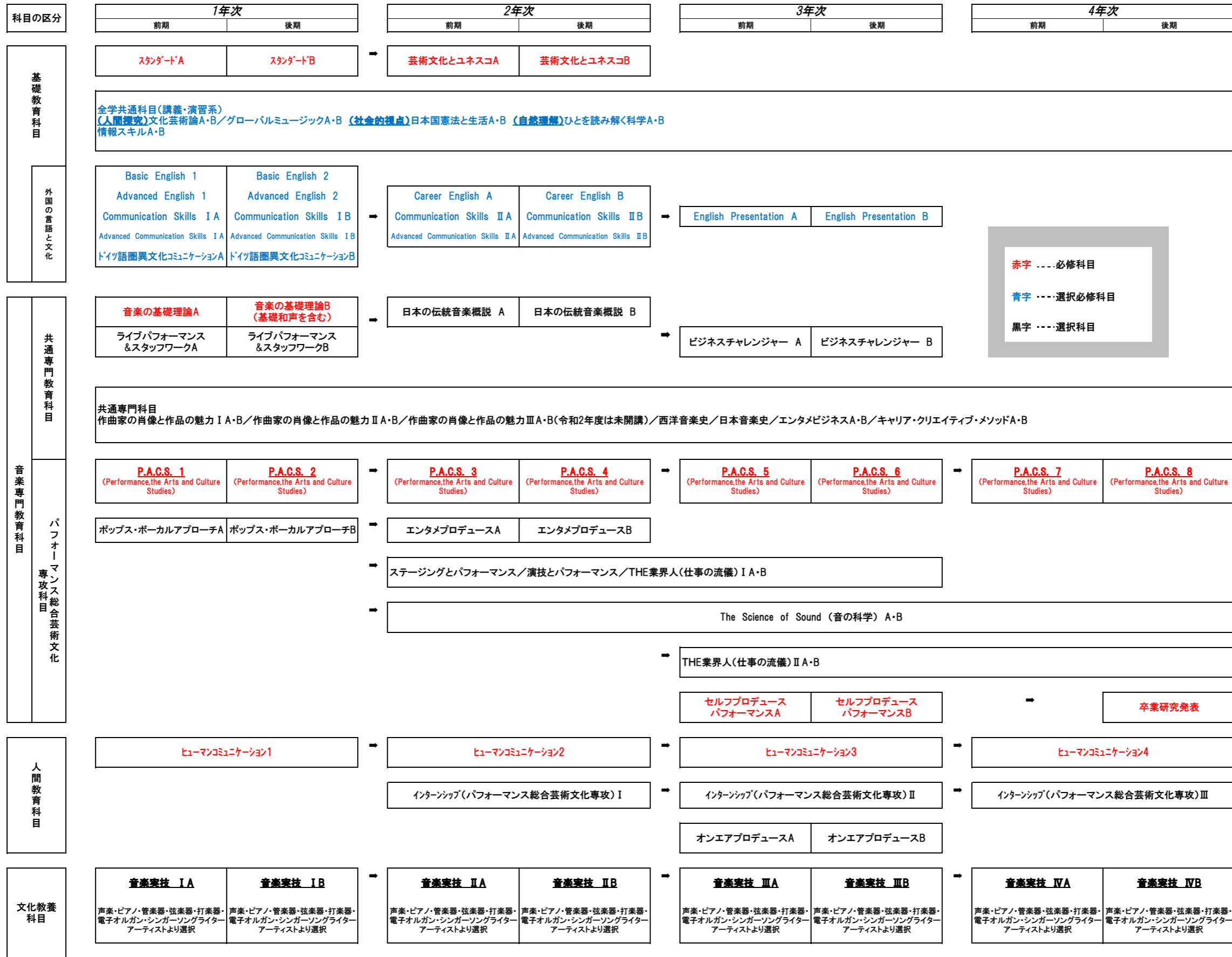
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」

赤字 必修科目
青字 --- 選択必修科目
黒字 --- 選択科目
赤字 --- 教職科目

ディプロマポリシー

令和3年度 東邦音楽大学 音楽学部 音楽学科【パフォーマンス総合芸術文化専攻】カリキュラムツリー(履修系統図)



赤字 --- 必修科目
青字 --- 選択必修科目
黒字 --- 選択科目

カリキュラムポリシー

知識・技能
教養と技能およびキャリアを育む。全学共通カリキュラム「東邦スタンダード」を設置する。

知識・技能
広範で多様な基礎知識の獲得と専門性を高めるために、体系的で幅広い学修が可能な科目群を設置する。

知識・技能
専門的な方法論と知識を学ぶために、順次性があるカリキュラムを編成する。

知識・技能
高い芸術性を修得するため、専攻実技は個人レッスンを実施する。

思考力・判断力・表現力
専攻を超えて、幅広い領域の科目を履修し総合的視点を養う。

思考力・判断力・表現力
知識の活用能力、批判的・論理的思考力、課題探求力、問題解決力、表現能力、コミュニケーション能力の育成のため、アクティブラーニングを取り入れた参加型の少人数授業を実施する。

意欲・関心・志向性
国際的に通用する幅広い知識を持ち、芸術文化の発展に貢献できる人材育成。

意欲・関心・志向性
身に着けた知識やスキルを統合し、問題解決力と新たな価値の創造につなげていく能力や姿勢を育成する。

知識・技能
多面的な履修を通して社会生活において必須とされる汎用的な能力

知識・技能
専攻分野を中心とした知識と技能

知識・技能
国際的な視野に立った広範な文化の理解

思考力・判断力・表現力
現代社会に必要なとされるコミュニケーション能力

思考力・判断力・表現力
体系的学修と実践に基づいた課題の発見、分析、解決をする能力

思考力・判断力・表現力
自己発信のプレゼンテーション能力

思考力・判断力・表現力
専門分野を超えて問題を探求する姿勢

意欲・関心・志向性
国際感覚を身に付け、世界に踏み出そうとする意欲

意欲・関心・志向性
自己や他者の役割を理解し、協働できる広い視野(自己管理能力・チームワーク)

意欲・関心・志向性
生涯にわたって探求しようとする姿勢(生涯学習力)

意欲・関心・志向性
多様な価値を認め、主体性をもって積極的に社会に貢献しようとする意欲(社会的責任・チームワーク・リーダーシップ)

建学の精神・教育の理念「音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格形成を目的とする」